

紙屋小学校だより

令和2年 3月17日 発行



校長 中石正彦

学校に子どもたちの明るい声が響きました。臨時休校から約2週間、登校した子どもたちの笑顔は、いつもより輝いて見えました。久しぶりに会う友達や先生との会話・・・何気なく、当たり前だったことが、どんなに嬉しく、幸せなことなのかと改めて感じたことでした。

臨時休校期間が延長され、子どもたちも保護者の皆様も戸惑いや疲れを感じていらっしゃるのではないのでしょうか。十分な栄養と睡眠、適度な運動も心がけてストレスが溜まらないようにしたいものです。

3月の紙屋っ子

◇宮日こども新聞 学園俳壇作品掲載

6年 佐土原 くるみ

春どなり 待ち遠しいな 中学生

◇8日付 宮日新聞 ひなたスマイル

『厄払いで母校に寄贈』の記事

3日(火)に平成3年度卒業生36名を代表され、川嶋さん、園田さんが来校されました。厄払い記念として「ワイヤレスアンプー式」をいただきました。屋外での活動や行事等で活用させていただきます。ありがとうございました。

◇体力づくり奨励賞

教育活動全体を通じて体力向上の推進にあたり、児童の体力向上の成果がみられた学校に、県教育委員会より贈られる賞です。体力向上の手立て・指導の成果、子どもたちの頑張りとともに、「早寝・早起き・朝ごはん」「歩いて登校」の実践など、ご家庭の協力もあってのことです。嬉しいお知らせです。

3月の学習内容について

臨時休校中の授業に関して心配されているご家庭もあるかと思います。現学年で押さえるべき内容は「学習指導要領」に示されています。教科によっては教科書の単元が終わっていても、2月までの授業で他の単元で履修している内容があります。長文を読み解くこととか、科学的な見方をする事とかです。また、この時期の内容は培ってきた力を用いてまとめをする単元が多いです。ですから、教科書の勉強が終わっていないからと心配しすぎる必要はありません。

ただ、算数科など、どうしても履修しないと見えない内容が残されていることがあります。その場合、休校期間中の課題として、未履修の内容を考えさせるプリントに取り組みせたり、教科書を読ませたりします。また、新学年の最初に該当の内容を指導します。本校では未履修の内容を整理し、必要な内容については、登校日に指導したり、課題としてだしたりします。課題プリントは確実にやり遂げておくことが大切です。

臨時休校中は

感染拡大防止のために、不要不急の外出は控えるように指導していますが、健康維持のために屋外(学校の運動場や公園)で適度な運動をしたり、散歩をしたりすることはできます。その際、風通しの悪い空間で過ごすことを避ける、事件・事故を防止するためにも、親子で過ごしていただければと思います。親子のコミュニケーションを深め、ストレス発散の機会にもなります。また、興味関心があることをじっくり調べさせたり、日頃できないお手伝い(仕事)をさせたりしているご家庭もあります。ピンチをチャンスに変える素晴らしい取組だと思えます。

本日、子どもたちに1枚ずつマスクを配付しました。災害時のために市が備蓄していたマスクです。マスクをしていなかったお子さんには学校で着用させました。ほかのお子さんは持ち帰らせています。